

## 4 「子どものココロと家族のカタチ」～障害を抱えた親をもつ子どもへの支援～

【講師】北野 陽子氏 (NPO) ぶるすあるは/埼玉県さいたま市  
細尾 ちあき氏 (NPO) ぶるすあるは/埼玉県さいたま市

様々な事情を抱えた家庭の中で、子どもたちは何を想っているのでしょうか。

見過ごされがちな子どもの気持ち、うまく伝わらない親の気持ち。

周りにいる人は、どうやってその気持ちに向き合って、支えていけばいいのでしょうか。

この分科会では、障害を抱えた親とその子どもにスポットを当て、家族支援のあり方について考えます。

講師には絵本の作成・朗読、ウェブサイトの運営など必要だけど、これまでなかったツールを活用して、家族を応援している「ぶるすあるは」の方々をお呼びしています。当日は絵本の朗読と実践について、お話し頂きます。

親と子どもを繋ぐ家族のカタチをみんなで考え、家族の未来に役立つ『ぶらすあるふぁ』を探しませんか？

## 5 「もしかして自分って中間管理職？」～現場での葛藤について～

【話題提供者】

田保 圭一氏 新宿区立障害者生活支援センター/東京都新宿区

吉村 純広氏 (社福) ビタ・フェリーチェ 地域生活支援センタートライアングル/山口県岩国市

長濱 利行氏 (NPO) とらいあんぐる 隅田作業所/東京都墨田区

【コメンテーター】山本 美紀子氏 (社福) プライム/群馬県高崎市

【司会】兼濱 克弥氏 (公益社団) 沖縄県精神障害者福祉会連合会/沖縄県那覇市

みなさん入職して数年、いつの間にか後輩も入ってきて、気付けば上から2番目3番目になっていたという事はありませんか？

気持ちは新人のままなのに、上司に期待されるようになってきた。今まではメンバーとの関わりが中心であったのに、

運営面や人材育成についても考えなくてはいけなくなってきて、思うようにメンバーとの時間が持てないような気がする。

この分科会では、実際に中間管理職として現場で働く中で葛藤されている方や、一方で楽しく前向きに働いている方、中間管理職から

突然トップになってしまった方などの実践報告を聞きながら、参加された皆さんで中間管理職としての葛藤や悩みを共有しつつ、

「明日からもより頑張ろう」と前向きに思えるようなきっかけになっていただけたらと思います。

## 6 「自分のことも相手のことも大切にできるコミュニケーション方法」～アサーティブを学びませんか？～

【講師】中野 満知子氏 オフィス「想」ネットワーク代表

アスク ヒューマン ケア ライフスキルセンター講師 / (NPO) アサーティブジャパン認定講師

「自分の気持ちをうまく相手に伝えられない…」 「気持ちを伝えたかっただけなのに、言いすぎちゃった…」

人と関わるなかでこんな困りごとはありませんか？自分も相手も気持ちのいいコミュニケーションをとるにはどうしたら良いのでしょうか。

アサーティブとは自分の気持ちを、相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に表現することを意味します。

“一人ひとりが自分を大切に思えること” “自分の権利と相手の権利どちらも尊重できること” “多様な価値観の人と対等な関係を築けること”

を大切にしている「アサーティブ」を学び、より良いコミュニケーションを考えていきませんか？

今回はグループワーク等を取り入れた参加型で楽しく進めていきます。

メンバー、ご家族、支援者のみなさん！どなたでもぜひご参加下さい！

## ロビー企画 「amiversary みんなの20年」～あみの軌跡と私たちの歩み～



みなさんの記念日と20周年を迎えたあみの歩みを重ねてみませんか？そして、未来の希望も表明できる参加型ロビー企画です。

付箋紙に記念日を書いてあみ年表に貼り付けます。お披露目したい思い出の写真も貼れます。「作業所の初の宿泊旅行」

「初めてのミラクル幻覚妄想体験」「障害年金を取った」「1人暮らし・グータラ生活スタート」「中間管理職になっちゃった」

「やっと自由になった退院日」などなど、みなさんの輝いていた、輝いている瞬間を自慢しちゃいましょう！

未来の自分も年表に表現できます。「結婚」「年末ジャンボ当選」「就職」「差別のない社会」「給料アップ」など。

一緒に軌跡を辿り未来を作り出します。空いてる時間にご参加ください。